

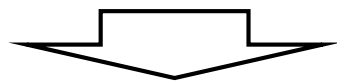
# 地域医療構想調整会議の 協議状況について

令和 5 年 (2023 年) 11 月 熊本県健康福祉部

- 地域医療構想については、各都道府県に対して、引き続き、「地域医療構想の進め方について」(平成30年2月7日付け通知)及び「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」(令和2年1月17日付け通知)等における一連の記載を基本として、地域医療構想調整会議での議論を進めていただくこととするが、その際、以下の留意点を追加的に示すこととする。

項目	各都道府県に対して追加的に示す留意点
①基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後、各都道府県において第8次医療計画(2024年度～2029年度)の策定作業が2023年度までかけて進められる際には、各地域で記載事項追加(新興感染症等対応)等に向けた検討や病床の機能分化・連携に関する議論等を行っていただく必要があるため、その作業と併せて、<b>2022年度及び2023年度において、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを行う。</b></li> <li>○ その際、各都道府県においては、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により病床の機能分化・連携等の重要性が改めて認識されたことを十分に考慮する。</li> <li>○ また、<b>2024年度より医師の時間外労働の上限規制が適用され、2035年度末に暫定特例水準を解消することとされており、</b>こうした動きも見据え、各構想区域において、地域医療構想の実現に向けた取組を進め、質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の確保を図ることが重要であることに十分留意する。</li> <li>○ 地域医療構想の推進の取組は、病床の削減や統廃合ありきではなく、各都道府県が、地域の実情を踏まえ、主体的に取組を進めるものである。</li> </ul>
②具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人口100万人以上の構想区域における公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」(令和3年7月1日付け通知)2.(3)において、「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等、地域医療構想の実現に向けた今後の工程に関しては、新型コロナウイルス感染症への対応状況に配慮しつつ、各地域において地域医療構想調整会議を主催する都道府県等とも協議を行いながら、厚生労働省において改めて整理の上、お示しすることとしている。」としていたことについては、<b>2022年度及び2023年度において、公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定や検証・見直しを行うこととする。</b></li> <li>○ このうち<b>公立病院</b>については、病院事業を設置する地方公共団体は、2021年度末までに総務省において策定する予定の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、<b>病院ごとに「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として策定した上で、</b>地域医療構想調整会議において協議する。</li> </ul>

- 今般、令和4年3月24日付け厚生労働省医政局長通知において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により病床の機能分化・連携等の重要性が認識されたことや、医師の時間外労働の上限規制を遵守しながら、同時に地域の医療提供体制の維持・確保を行うためには、地域全体での質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の確保を図る取組みを進めることが重要であることに追加的に留意し、2022年度(令和4年度)及び2023年度(令和5年度)において具体的対応方針の策定や検証・見直しを行うこととされた。
- これまで公立・公的・民間医療機関においては、2025年を見据え、構想区域において担うべき医療機関としての役割や、医療機能ごとの病床数を含んだ具体的対応方針を検討いただき、それぞれの地域調整会議で協議・合意いただいていたところ。



## 令和4年度の具体的な取組み

- 本県では、まず、「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証(令和元年度)」の対象となった医療機関<sup>※1</sup>の具体的対応方針の検証を引き続き進め、地域調整会議で協議する。
- ※1: 協議未了の熊本市立植木病院、宇城市民病院、国立病院機構熊本南病院、小国公立病院
- 上記以外の公立・公的医療機関、民間病院及び有床診療所については、追加的に示された留意事項を踏まえ具体的対応方針の検証(公立病院は「公立病院経営強化プラン」の策定)に着手する。検証後、平成30年度以降実施してきた協議の進め方<sup>※2</sup>に沿って、地域調整会議において決定する協議方法・協議順序に基づき、令和5年度にかけて順次協議を行う。
- ※2: 「政策医療を担う中心的な医療機関等」は統一様式により、その他の民間病院及び有床診療所については、地域調整会議で決定する方法(病床機能報告結果を一覧にした資料により一括して協議する等)により協議する。

## 対象医療機関

再検証対象医療機関は、がん、心血管疾患、脳卒中などの全ての領域において「診療実績が特に少ない」(9領域)又は「類似かつ近接」(6領域)の要件に該当する医療機関で、本県では、次の6病院が対象。

- ・ 熊本市立植木病院(熊本・上益城)
- ・ 熊本市医師会熊本地域医療センター(熊本・上益城)
- ・ 宇城市民病院(宇城)
- ・ 国立病院機構熊本南病院(宇城)
- ・ 小国公立病院(阿蘇)
- ・ 天草市立牛深市民病院(天草)

### 【再検証要請の趣旨】

各医療機関の役割等の再検証をお願いするもので、医療機関そのものの統廃合を機械的に決めるものでもない。  
地域の実情を踏まえ、地域調整会議で、2025年のあるべき姿に向けて必要な医療機能の議論を進めて頂きたい。

## 要請内容

再検証対象医療機関は、次の点について検討を行い、その結果を反映した具体的対応方針を地域医療構想調整会議において説明し、合意を得ること。

- ① 現在の地域における急性期機能や、将来の人口推移とそれに伴う医療需要の変化等を踏まえた、2025年を見据えた自医療機関の役割
- ② 分析対象とした領域ごとの医療機能の方向性(他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小・廃止等)
- ③ 上記を踏まえた機能別の病床数

「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」（令和2年1月17日付け厚生労働省医政局長通知）で再検証の対象となった6病院において、それぞれ再検証を進めた。  
⇒ 令和4年度末までに、6病院全ての再検証が終了し、それぞれの地域で合意を得た。

## 熊本市立植木病院

- 植木病院事務局において、熊本市民病院や、近隣の医療機関との役割分担、診療実績等の分析を実施。令和5年2月の熊本・上益城地域調整会議で合意された。
- ⇒ 地域における医療需要を踏まえ、病床数を141床 → 110床へ減少。

## 熊本市医師会熊本地域医療センター

- 令和2年4月14日、今後のあり方検討について市医師会と意見交換。
- 建替え方針の検討にあたっては、長期的な運営を維持するため、適切な規模にダウンサイジングしつつ、診療科のあり方も検討していくこととされた。
- 担う役割について検討後、令和4年2月の熊本・上益城地域調整会議で合意された。
- ⇒ 人口減少・少子化のなか、担う役割に重点化するため、病床数を227床 → 204床へ減少。

## 宇城市民病院

- 令和4年2月15日、宇城市が市民病院の民間譲渡方針を発表。
- ⇒ 無床診療所として民間譲渡することについて、令和4年8月の宇城地域調整会議で合意された。

## 国立病院機構熊本南病院

- 地域の医療需要を踏まえ、役割を整理。
- ⇒ 令和5年3月の宇城地域調整会議で合意された。



## 小国公立病院

- 令和2年12月22日、「阿蘇地域の医療提供体制に関する意見交換」を開催。
- 小国公立病院、阿蘇医療センターの両院長に加え、阿蘇市長、小国町長、南小国町長、産山村長も出席。地域の医療提供体制の維持には、経営の継続や医療人材の確保について、複数医療機関で連携して検討していく必要があることについて認識を共有。
- 公立2病院を中心に意見交換を重ね、**令和5年3月の阿蘇地域調整会議で合意**された。  
⇒ 人口減少や阿蘇医療センターとの連携を踏まえ、病床数を73床 → 65床へ減少。  
**令和5年9月に阿蘇医療センターとの更なる連携強化や機能整備のため「重点支援区域」に選定。**

## 天草市立牛深市民病院

- 牛深市民病院を含む天草市立4病院（牛深、栖本、新和、河浦）の今後のあり方について検討。
- 医療機能は落とさずに効率化を進める観点から、4病院の総病床を約3割削減した上で、回復機能の充実、在宅医療・健康増進等に取り組むことを盛り込んだ再編方針について、**令和元年12月の天草地域調整会議で合意**された。
- 令和2年8月には、国による重点的な支援が受けられる「重点支援区域」に選定された。
- 令和3年3月には、再編方針を具体化した「第4期天草市立病院改革プラン」が策定された。
- 同プランに基づき、施設の改修等を実施中。

(単位：床)

	役割の見直しの方向性	見直し前	見直し後	減
牛深市民病院	急性期医療の充実	148	118	▲ 30
栖本病院	糖尿病医療等の充実	70	44	▲ 26
新和病院	回復期リハビリ等の充実	40	30	▲ 10
河浦病院	回復期・療養機能の充実	99	66	▲ 33
合計		357	258	▲ 99

※病床数の見直しは、令和3年3月に実施済み。

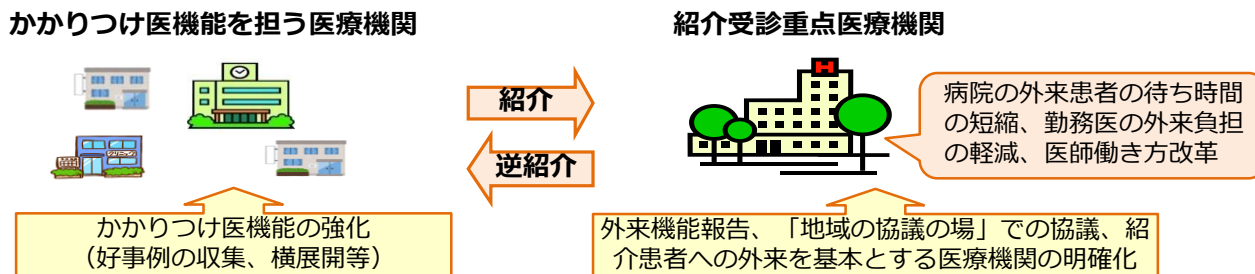
## 1. 外来医療の課題

- 患者の医療機関の選択に当たり、外来機能の情報が十分得られず、また、患者にいわゆる大病院志向がある中、一部の医療機関に外来患者が集中し、患者の待ち時間や勤務医の外来負担等の課題が生じている。
- 人口減少や高齢化、外来医療の高度化等が進む中、かかりつけ医機能の強化とともに、外来機能の明確化・連携を進めていく必要。

## 2. 改革の方向性

- 地域の医療機関の外来機能の明確化・連携に向けて、データに基づく議論を地域で進めるため、
  - ① 医療機関が都道府県に外来医療の実施状況を報告（外来機能報告）する。
  - ② ①の外来機能報告を踏まえ、「地域の協議の場」において、外来機能の明確化・連携に向けて必要な協議を行う。
 → ①・②において、協議促進や患者の分かりやすさの観点から、「医療資源を重点的に活用する外来」を地域で基幹的に担う医療機関（紹介受診重点医療機関）を明確化
  - ・ 医療機関が外来機能報告の中で報告し、国の示す基準を参考にして、地域の協議の場で確認することにより決定

➡ 患者の流れがより円滑になることで、病院の外来患者の待ち時間の短縮や勤務医の外来負担の軽減、医師働き方改革に寄与



- 〈「医療資源を重点的に活用する外来」のイメージ〉
- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来（悪性腫瘍手術の前後の外来 など）
  - 高額等の医療機器・設備を必要とする外来（外来化学療法、外来放射線治療 など）
  - 特定の領域に特化した機能を有する外来（紹介患者に対する外来 など）

- ◆ これまでの病診連携については、外来医療の機能も含め、地域で構築されてきた経緯がある。
  - ◆ また、地域のかかりつけ医の機能を担う病院や、専門医療を提供する診療所など、医療機関によって担う役割は様々である。
  - ◆ そのような地域の実情を踏まえ、
    - ① 重点外来基準に該当するが、紹介受診重点医療機関となる意向を有さない医療機関
    - ② 重点外来基準に該当しないが、紹介受診重点医療機関となる意向を有する医療機関を対象とし、地域としてどの医療機関を「紹介受診重点医療機関」とするか、地域調整会議において協議・決定※し、明確化する。
- ※ 重点外来基準を満たした医療機関であって、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を有する場合は、特別な事情がない限り、紹介受診重点医療機関となることが想定される。
- ◆ 決定された紹介受診重点医療機関は、令和5年度に県から公表する。



## 紹介受診重点医療機関一覧（12月1日時点）

No	医療機関名	所在地	公表日
1	熊本大学病院	熊本市中央区本荘1丁目1番1号	8月1日
2	熊本医療センター	熊本市中央区二の丸1番5号	8月1日
3	熊本赤十字病院	熊本市東区長嶺南2丁目1番1号	8月1日
4	済生会熊本病院	熊本市南区近見5丁目3番1号	8月1日
5	熊本市民病院	熊本市東区東町4丁目1番60号	8月1日
6	熊本中央病院	熊本市南区田井島1丁目5番1号	8月1日
7	熊本地域医療センター	熊本市中央区本荘5丁目16番10号	8月1日
8	くまもと森都総合病院	熊本市中央区大江3丁目2番65	12月1日
9	宇城総合病院	宇城市松橋町久具691番地	9月1日
10	熊本南病院	宇城市松橋町豊福2338番地	9月1日
11	くまもと県北病院	玉名市玉名550番地	10月1日
12	荒尾市立有明医療センター	荒尾市荒尾2600番地	10月1日
13	熊本総合病院	八代市通町10番10号	9月1日
14	熊本労災病院	八代市竹原町1670番地	9月1日
15	国保水俣市立総合医療センター	水俣市天神町1丁目2番1号	9月1日
16	人吉医療センター	人吉市老神町35番地	10月1日
17	天草地域医療センター	天草市亀場町食場854番地1	9月1日

## 各構想区域の地域医療構想調整会議の開催状況（令和5年度）

- 各構想区域においては、主に①具体的対応方針、②紹介受診重点医療機関の選定、③外来医療計画について協議を実施。

圏域	開催日	協議(報告)対象医療機関
熊本・上益城	7月27日	①熊本大学病院、熊本医療センター、熊本赤十字病院、 済生会熊本病院、熊本市民病院、福田病院 ②熊本大学病院、熊本医療センター、熊本赤十字病院、 済生会熊本病院、熊本市民病院、熊本中央病院、 熊本地域医療センター
	11月2日	①熊本中央病院、熊本地域医療センター、そよう病院、 熊本機能病院、高野病院 ②くまもと森都総合病院
宇城	8月8日	②宇城総合病院、熊本南病院
	11月14日	①宇城総合病院、済生会みすみ病院
有明	9月4日	②荒尾市立有明医療センター、くまもと県北病院
	11月14日	個別医療機関の協議なし

## 各構想区域の地域医療構想調整会議の開催状況（令和5年度）

- 各構想区域においては、主に①具体的対応方針、②紹介受診重点医療機関の選定、③外来医療計画について協議を実施。

圏域	開催日	協議(報告)対象医療機関
鹿本	9月5日	①山鹿中央病院、保利病院
	11月7日	①三森循環器科・呼吸器科病院、山鹿温泉リハビリテーション病院
菊池	8月1日	①菊池中央病院、川口病院、熊本セントラル病院
	11月15日	①熊本リハビリテーション病院、菊池郡市医師会立病院
阿蘇	9月5日	①阿蘇温泉病院、阿蘇立野病院、大阿蘇病院
	11月中※	個別医療機関の協議予定なし
八代	8月2日	②熊本総合病院、熊本労災病院
	11月10日	①熊本総合病院、熊本労災病院、八代北部地域医療センター

※書面開催

## 各構想区域の地域医療構想調整会議の開催状況（令和5年度）

- 各構想区域においては、主に①具体的対応方針、②紹介受診重点医療機関の選定、③外来医療計画について協議を実施。

圏域	開催日	協議(報告)対象医療機関
芦北	8月25日	①国保水俣市立総合医療センター、岡部病院 ②国保水俣市立総合医療センター
	11月1日	①その他病院及び有床診療所(18医療機関)
球磨	9月27日	②人吉医療センター
	12月6日	①愛生記念病院、その他病院及び有床診療所(16医療機関)
天草	8月1日	①天草中央総合病院、天草地域医療センター、上天草総合病院 ②天草地域医療センター
	11月15日	①天草慈恵病院、天草第一病院、苓北医師会病院